

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	専攻実技1（作曲ゼミ）	
科目基礎情報							
開設学科	ミュージックアーティスト科		コース名	サウンドクリエイターコース		開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	1単位		開講時間			授業形態	演習
教科書/教材	必要に応じてハンドアウト配布。学生は指定の五線紙と筆記用具を用意。						
担当教員情報							
担当教員	平下政志・二本柳一明				実務経験の有無・職種	有・音楽家	
学習目的							
調性を有するオリジナルメロディーを作ることを目的とする。							
学習の過程でコードおよびハーモニー理論が必要になるので、そちらにも充分な時間を割り当てる。							
到達目標							
まずは「理にかなった無難なメロディー」の習作をトピックごとに重ね、最終的にはオリジナル作品を数曲完成させる。							
習ったテクニックがその作品に無意識に反映されている状態を理想とする。							
教育方法等							
授業概要	講義→実習→作品提出の繰り返し。最小限を心がけるものの、講義の量はそれなりになるので、学生は時間外の作業時間が必要になる。						
注意点	すべてのクラスとの連動が重要だが、特に月曜日音楽基礎理論および木曜日制作演習との連携を重視し、効率良くテクニックの習得を図る。 授業計画にはマックスのパターンを記載したが、実際には様子を見ながら、必要なトピックには時間をかけるものとする。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	0%					
	小テスト	0%					
	レポート	60%	作品提出				
	成果発表 (口頭・実技)	0%					
	平常点	40%	出席率および受講態度				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	major key, pentatonic scale			グレード9/ pentatonic melody の制作			
2回	scale degree と tendency			pentatonic melody 仕上げ			
3回	major key I chord のみの melody			I major のみで、短いmelody を制作			
4回	(概念) avoid note/ available tension			制作した melody と照らし合わせ、耳で体感する			
5回	root motion と melody			I IV V のみを用いた root motion に melody を乗せる			
6回	chord function			第5回の課題をもとに、T/D/SDの関係を耳で体感する			
7回	major key diatonic melody			chord function を意識しながら、major key diatonic chord のみを用いて作曲			
8回	major key diatonic melody			同一機能内での reharmonization など、第7回作品をブラッシュアップ			
9回	cadence 1			cadence を意識した melody/ chord progression を制作			
10回	cadence 2			第9回作品のブラッシュアップ			
11回	syncopation 1			グレード1・2/ anticipation と delayed attack の理解、作品制作			
12回	syncopation 2			第11回作品のブラッシュアップ			
13回	中間課題制作 1			指定された条件で作品を制作、個別対応①			
14回	中間課題制作 2			指定された条件で作品を制作、個別対応②			
15回	中間課題制作 3			指定された条件で作品を制作、個別対応③			